

職員の育成及び連携のための『伝える力』『聞く力』向上研修

職員間のコミュニケーションの基礎を学び、人材育成及び連携強化を図る！

対人援助が中心となる介護業務において、職員自身はコミュニケーションをとることを得意と思っている方が多いかもしれません。しかし、『情報』を正しく伝えたり、正しく聞き取ったりする技術を職員全員が持っているケースは極めて少ないのが現状です。その証拠に「指示した内容が正しく伝わらない」、「部下からの報告の内容が良く分からない」、「情報共有ができない」などの事象がいつでも、どこでも、誰にでも生じています。そして、情報が正しく伝達できなかつたり、情報共有が十分でなかつたりすることで事故に至ることもあるはずです。

情報の伝達（伝えたり、聞き取ること）には、専門的な技術が必要です。しかし、残念なことに、現在の教育制度（義務教育、高等教育を含め）では、その技術を習得する機会はありません。ある意味、職員間で情報を伝達できないのは、当たり前のことなのです。これでは、『職員連携』は円滑にできるはずはありません。また、十分な連携ができなければ『職員の育成』にも限界が生じます。

本研修では、『伝える力』と『聞く力』を高めることを通して、『職員の連携』及び『人材の育成』を図るための基礎を学びます。

4/17 9:30~16:30 11,000円

ネット配信加入者は半額！

カリキュラム	講師 神 智淳 老年学修士
① 報告・連絡・相談について ② なぜ情報が伝わらないのか ③ 伝える力（正しく伝える知識と技術、） ④ 聞く力（正しく聞く知識と技術） ⑤ 人材育成のためのコミュニケーションの知識と技術 ⑥ 演習	お茶の水ケアサービス学院 学院長 日本健康医学会 監事 福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員の指導・育成に従事。各公益団体との共同研究や外部評価に関する講演や執筆活動を行うと共に、介護施設等のコンサルティングを行う。厚生労働省の老人保健健康推進事業として、「福祉用具専門相談員の質の向上に向けた調査研究事業」の検討委員。

【受講者の声】●目から鱗の内容が多々あった ●自分に不足している部分がよく理解できた●人の話を聞く難しさを痛感した ●事例が豊富で参考になった ●なぜ、職員間での情報伝達が上手くないのか、原因と対策が良く理解できた ●職場での指示・報告の仕方に課題を感じていたのでもって参考になった ●相手にわかりやすく優先順位を考えた報告を心掛けようと思う ●自分の思いや憶測で事実を歪めた報告をしていたなと反省した●今回の技術は、すごく実践的で、早く現場で試してみたい ●部下の育成の視点での指示の仕方、大切ですね

申込方法：電話、ファックスにて受付いたします。締切：全て先着順になります（80名）

問合せ先：お茶の水ケアサービス学院 事務局

TEL：03-3863-4000 FAX 03-3863-4006

受講対象：介護従事者全般、事務職員等

研修会場：国労大阪会館 大阪市北区錦町2-2 天満駅より徒歩5分

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	事業所名		ネット配信の加入の有無	有・無
住所	(〒 -)	(事業所・自宅)			
TEL		FAX		e-mail	

※お申し込み後（お申込み日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。

尚、申込日に拘らず4/3以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでお気を付け下さい。